

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

(検査日： 年 月 日)		(検査者：)	
氏名：		生年月日： 年 月 日	年齢： 歳
性別：男／女	教育年数(年数で記入)：	年	検査場所
DIAG：		(備考)	

1	お歳はいくつですか？ (2年までの誤差は正解)	0	1
2	今日は何年の何月何日ですか？ 何曜日ですか？ (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年 月 日 曜日	0 1 0 1 0 1 0 1
3	私たちがいまいるところはどこですか？ (自発的にできれば2点、5秒おいて家ですか？ 病院ですか？ 施設ですか？ のなかから正しい選択をすれば1点)	0	1 2
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1:a) 桜 b) 猫 c) 電車 2:a) 梅 b) 犬 c) 自動車	0 0 0	1 1 1
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は？、それからまた7を引くと？と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	(93) (86)	0 1 0 1
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2, 3-5-2-9 を逆に言ってもらう、3桁逆唱に失敗したら、打ち切る)	2-8-6 9-2-5-3	0 1 0 1
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合以下のヒントを与え正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a: b: c:	0 1 2 0 1 2 0 1 2
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあつたか言ってください。 (時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの)	0 3	1 2 4 5
9	知っている野菜の名前ができるだけ多く言ってください。(答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒間待ってもできない場合にはそこで打ち切る) 0～5=0点、6=1点、7=2点、8=3点、9=4点、10=5点	合計得点	0 1 2 3 4 5

出典) 大塚俊男, 本間 昭監修:高齢者のための知的機能検査の手引き, ワールドプランニング, 東京 (1991).

各認知症の特徴とBPSD

	アルツハイマー型認知症	血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭側頭型認知症
男女比	女性に多い	男性に多い	男性に多い	性差なし
発症年齢	70歳前後	60歳代で発症	•高齢者に多い •40歳代でも発症する可能性もあり	初老期に発症することが多い
初期症状	物忘れ	物忘れ	幻視、妄想、うつ	人格・情緒障害
特徴的な症状	認知障害、物どちられ妄想徘徊、まとまりのない話意味のない作業	認知障害、手足のしびれ麻痺、せん妄、感情の制御困難	パーキンソン症状、幻視認知の変動、睡眠時の異常行動、認知障害	人格変化、自発性低下、異常行動（浪費、過食、窃盗など）
経過	緩やかに進行	段階的に進行	緩やかに進行 (経過が早い場合もある)	緩やかに進行
脳の変化	海馬の委縮がみられる	梗塞などがみられる	海馬の委縮が少ない	前頭側頭葉の限局性萎縮
BPSD	アパシー、易刺激性(些細なことで怒る)興奮、暴力、拒絶、介護への抵抗、妄想、徘徊、夕暮れ症候群	アパシー、抑うつ、注意障害、病態失認、無頓着、夜間せん妄、昼夜逆転、幻覚妄想	幻視(人物、小動物、虫など)物体・人物・場所誤認、被害妄想、アパシー、易刺激性、異常行動、抑うつ	脱抑制・わが道を行く行動、常同行動、食行動異常、嗜好の変化(甘いものばかり食べるなど)、多幸